

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 ヘブル 3:13-14 … 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- \*賛美 …………… 9番 聖なる、聖なる、聖なるかな
- \*交読文 …………… 51番
- \*使徒信条 …………… 会衆一同
- \*頌栄 …………… 175番 み霊よわれ歌う時
- 礼拝のための祈り …… 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 賛美 …………… 344番 この目は何も見えずとも
- メッセージ …………… 祝福の地を見えなくさせるもの(創世記 21:9-21)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 427番 日ごとよろこび
- 献金感謝の祈り …… パスター
- 報告 ……………
- \*主の祈り …………… 会衆一同
- \*祝祷 …………… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

あなたがたの中に罪の惑わしに陥って心を頑なにする者がないように、「きょう」といううちに、日々、互に励まし合いなさい。もし最初の確信を、最後までしっかりと持ち続けるならば、      はキリストにあずかる者となるのである。(ヘブル 3:13)

イエスは      に答えられた、「よくよく      に言うておく。すべて罪を犯す者は罪の奴隷である。そして、奴隷はいつまでも家にいる者ではない。しかし、子はいつまでもいる。だから、もし子が      に自由を得させるならば、      は、ほんとうに自由な者となるのである。(ヨハネ 8:34-36)

      よ。あなたがたは、イサクのように、約束の子である。しかし、その当時、肉によって生れた者が、霊によって生れた者を迫害したように、今でも同様である。しかし、聖書はなんとやっているか。「女奴隷とその子とを追い出せ。女奴隷の子は、自由の女の子と共に相続をしてはならない」とある。だから、      よ。わたしたちは女奴隷の子ではなく、自由の女の子なのである。(ガラテヤ 4:28-31)

ベエル・シェバとはどういう所かを前回学んだ。そこは、よく潤った広くて良い地、私達が目指すべき地であるが、その素晴らしい良き地がせっかく示されても、入れない人・入れても祝福を得られない人がいる。今回、そのようなベエル・シェバの祝福を受けられない人の特徴と、その対処法を学びたい。

ベエル・シェバが聖書で最初に登場するのは創世記 21 章だが、その箇所には只ならぬ事が起きている。『翌朝早く、アブラハムは、パンと水の皮袋を取ってハガルに与え、それを彼女の肩に載せ、その子とともに彼女を送り出した。それで彼女はベエル・シェバの荒野をさまよひ歩いた。』(創世記 21:14) この母子がパンと水だけを持たされて送り出されてしまったのは、自分の立場をわきまえずに、高慢になったからだ。イシュマエルは歳の差のある弟のイサクを軽んじ、ばかにし、母ハガルも彼を止めなかった。神の国に弱者をばかにして戯れる性質は、無い。争いを好み、弱い人をばかにして笑う人は、切り離されてしまう。

アブラハムはイシュマエルも自分の子なので、非常に悩んだが、主は言われた。この少年も一つの大きな国民としよう、と。それはハガルにも与えられていた約束であるので、アブラハムは安心して「送り出した」。ところがハガルはわざわざベエル・シェバの「荒野」へ向かって行く。道沿いに行けば町や井戸がある土地なのに。しかも目の前に井戸があるのに、彼女は気づかなかった。自暴自棄になったのかもしれない。せっかくベエル・シェバに送り出されても、神様の約束の言葉ではなく、自分の負の感情をじっと見つめ、沸き立たせ、不平不満や争いの心を高じさせる人は、祝福の井戸には、ありつけないのだ。

「イシュマエル」の名は「神は聞かれる」という意味で、主がつけて下さった名前だ。彼女は「神は聞かれる」という子を手放して感情に任せて泣いていた所、神は「少年の声を聞かれた。それでハガルに声をかけ、約束を思い起こさせ、『神がハガルの目を開かれたので、彼女は水の井戸のあるのを見た。』(19節)

肝心のもがそこにあるのに気づかず、神様が目を開いて下さる場面は、聖書には幾つかある。バラムはモーセの時代の有力な預言者であったが、彼が大金で雇われ、ろばに乗ってイスラエルを呪いに行く途上、目の前に御使いが抜き身の剣を手に待ち構えているのが、見えなかった。彼は「金への欲望」で目が塞がれていたためだ。(民数記22章) 彼を乗せたろばは、剣を持った御使いを見てその場にうずくまってしまったが、バラムは「進め、進め、なんで自分の思い通りに行かないのだ」、と、ろばを打った。

その時、主がバラムの目を開かれたので、彼は主の使いが抜き身の剣を持って道に立ちふさがっているのを見て、頭を垂れてひれ伏した。『主の使は彼に言った、「なぜあなたは三度もろばを打ったのか。あなたが誤って道を行くので、わたしはあなたを妨げようとして出てきたのだ。』(民数記 22:32) 御使いは、ろばを擁護した。結局この著名な預言者は、ろばの信仰によって命拾いしたのだ。情けない話だが、お金への欲望は、どんな有力な預言者といえど、ろばさえ分かるような滅びへの道さえ分からなくしてしまうのだ。

もう一つ、見えなかった目が開かれる事で有名な場面が、使徒 9 章にある。『するとたちどころに、サウロの目から、うろこのようなものが落ちて、元どおり見えるようになった。そこで彼は立ってバプテスマを受け、また食事をとって元気を取りもどした。』(使徒 9:18) ここは迫害者サウロが使徒パウロになった場面である。彼が見えていなかった理由は、「自分は正しい」という思い込みに満たされていたからだ。自分がしていることは正しい、相手が間違っている、だから何しても良いのだ、という思いにくらまされ、神の御心に反する事を逆にしてしまっていた所を、主はアナニヤという人を通して彼の目を開いて下さった。

このように、ハガルは鬱憤に、バラムは金銭欲に、サウロは自己義によって見えなくなっていたが、私達もそれらによって目がくらまされ、神様が用意して下さった祝福が見えなくなってしまう事がある。もし祝福があるはずなのに見えない、と自覚をしたなら、それらから目を逸らし、思いと心を主に向け、御霊に歩むよう軌道修正すべきだ。そうすれば、見えなくしている覆いは取り除かれ、自由になる。(2コリント 3:12-16)

主は、ハガルにはイシュマエルを、バラムにはろばを、サウロにはアナニヤを遣わして目を開いて下さったが、私達も霊的盲目に陥って突き進んでいる兄弟姉妹に気づいたなら、助けてあげるべきだ。進んではならない滅びの道がよく見えるようになり、さらみ祝福の地ベエル・シェバもよく見えるようになって、何をしても栄える幸いを勝ち得ていく皆さんでありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

# 横浜天声キリスト教会

## 礼拝 週報



### 集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → [youtube.com/c/横浜天声キリスト教会](https://youtube.com/c/横浜天声キリスト教会)

#### 日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝  
食事/フェローシップ/賛美 12:30~  
2部礼拝 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00~

#### 日々の集会

月~金 早天祈祷会 5:00~  
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00~  
火~木 夜の祈祷会 19:30~

#### 水曜礼拝

1部 13:00~  
2部 19:30~

### アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分  
JR・関内駅より徒歩10分  
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で  
聖書メッセージをメールで  
毎日携帯にお届けします。  
左記コードを読み込み、  
空メールを送信するだけ！

〒231-0058 パスター: 林和也 川合ゆきえ  
神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園I-201  
TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>  
email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



YouTube